IT時事ネタキーワード「これが気になる！」（第47回）

Amazon“役立つ”レビューを見分ける

2019.08.26

Amazonは、年に一度のプライム会員大感謝祭「プライムデー」を2019年7月15～16日に行った。詳しい売上高は発表されていないものの、この2日間で注文された商品は世界で1億7500万点以上、日本でも、過去の「サイバーマンデー」および「プライムデー」と比較し、史上最大規模になったと発表した。

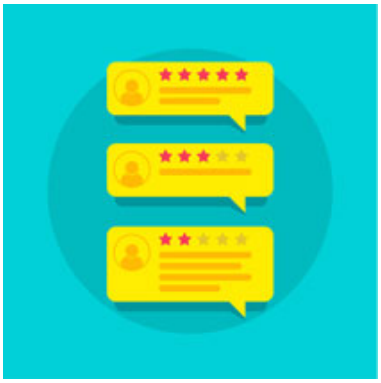
ネット通販は、もはや日常のものといって過言ではない。現物を手に取らないで購入する通販は、当初、抵抗のある人も多かった。ところが今は多くの人が抵抗を感じずに利用している。

通販の魅力は、いつでもどこでもあらゆるショップから物が買えて、購入物は数日で玄関まで届くところだ。筆者のように人や店の少ない地方に住む者にとっては、時間とコストの節約になる。地方では、欲しい物を散々探し回っても「ない」なんて事態も少なくないからだ。

Amazon以外に人気なのは、楽天やYahoo!ショッピングだ。ただし通販に送料は付きもの。Amazonでは年間5000円ほどの会費を払って会員になれば、基本的に送料が無料となり、動画や音楽などさまざまなサービスが利用できる。やはり一番の人気だ。

ただし、現物を手に取れない通販では、届いてから「こんなはずじゃなかった」と後悔する可能性がある。通販で「泣き」を見ない、よりおトクに、より目的に応じた商品を入手するにはどうしたらいいのだろうか。

ネット通販で重視するのがレビュー。「ステマ」を見抜け



商品ページにある情報や、メーカーサイトの商品情報だけでは、商品を手に取れないデメリットは埋めにくい。デメリットを埋めるには、商品ページに記された、実際に買ったり使ったりしているユーザーの声、「レビュー」が役に立つ。

筆者も多くの物を通販で入手する。目的に応じた商品をよりおトクに入手するためには、類似の商品の比較などで十分に吟味する。ターゲットの商品は、商品情報やスペックシートに加え、商品ページに書かれたユーザーからのレビューを参考にして選ぶ。やはり実際に購入して使ってみたユーザーの意見は貴重だと思う。

だが、レビューを100％信じてはいけない。店側からお金をもらって書く「ステマレビュー」（サクラレビューなどとも呼ばれる）が横行しているからだ。筆者もついこうしたステマレビューを参考にして、商品を買ってしまったことがある。レビューの内容とは似ても似つかぬ品だった。

商品ページにずらりと並ぶレビューの中から本物の情報を見分け、より有効なチョイスを行わなくてはならない。ステマレビューの見分け方を箇条書きにまとめてみた。

ステマレビューの見分け方7つ… 続きを読む